

紀州新聞に掲載された記事です。

唱歌、童謡交えた講演聞く

養護ときわ寮で職員研修会

老人福祉施設事務組合

御坊日高老人福祉施設事務組合が7日、美浜町和田の養護老人ホームときわ寮で全職員研修会を開き、職

員約180人が参加。聖福寺(白浜町)の関守研悟住職が「より良い人間関係について」をテーマに、唱歌や童謡を交えて講演した。

関守住職は「21世紀は心の時代がやってくると言われたが、10年を過ぎて回りを見渡すと、物質的には豊になったが、心の時代がやってきたとは言い難い。唱歌や童謡は大人になって

もう一度ふれてみると深い味わいを感じ、自分と向き合う時間を取り戻すことができる。唱歌や童謡から、先人が残した豊かな心を感じていただきたい」と話し、講演と合わせて「里の秋」故郷の空「もみじ」などを演奏しながら歌った。



唱歌や童謡を紹介する関守住職

座右の銘として大切にしているを紹介。「人間関係や自分の境遇に思い悩んだことが一度はあるのではないのでしょうか。自分を取り巻く環境を変えることは難しく、思い通りにいかない」と、それが新たな悩みや愚痴になる。環境を変えようとするのではなく、自分を

変えようとしたするで大きな境地を得ることができると、自分が変われば世界が変わる。私はこの言葉に報われてきた」と語った。

歌にメッセージを込め、中島みゆきの「時代」や小田和正「たしかなこと」なども演奏し、目を閉じて聞き入る職員もいた。